

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科： 総合理工学研究科・エレクトロニクス

※留学を希望している近畿大学学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか。

☒ 同意する☐ 同意しない留学先国名： ロシア留学先都市： サンクトペテルブルク留学先大学： ITMO大学留学先所属学部： なし留学期間： 21 年 9 月～ 22 年 12 月学年（出発時）： 1 年帰国報告書提出日： 21 年 1 月 10 日

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

世界中の国々から多くの学生が来ています。そして、多くの学生・スタッフは英語を話すことができます。情報学に長けており、競技プログラミングの界隈では有名です。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

教員がネイティブではないこともあって、英語を上手く話せなくても、挑戦したことを評価してくれる環境だったと思います。また、ロシア語が話せなくても、バディ(学生)がサポートしてくれます。

勉強面でのサポート

わからないところがあれば、教員に聞くことができます。メールではなく、SNSを通じて連絡することが多かったです。なので、気軽に聞くことができました。

精神面でのサポート

学内に留学生をサポートする機関があるので、そこに相談することができます。
https://en.itmo.ru/en/page/343/International_Students_Councilg.htm

生活・住居面でのサポート

到着後、生活が落ち着くまで、バディがサポートしてくれます。ロシアでの書類作成ではバディの指示に従うだけでよかったです

2. 生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

ロシアのアプリケーション(yandex go、yandex maps、ozon)を利用することが生活になると思います。行き方がよくわからなければ、タクシーを利用していました。料金は日本と比べてかなり安いです。欲しいものを街で見つけることができなかつたらozonで購入していました。

(2) パソコンについて

PCの保有状況：☒日本から持参した ☐現地で購入した ☐保有しなかった

Wi-Fiの有無：☒有 ☐無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

ホテルにインターネット環境がありましたが、速度は速くないのでおすすめしません。現地のSIMカード(Yota)からデザリングをすることで、wifiを利用していました。無制限で月に600円程度でした。

大学でのPCの使用可否：☒使用できた ☐使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

大学にパソコンを24時間使用できる施設がありました。しかし、いつも混んでいたもので、パソコンを使用できない可能性が高いです。

(3) 医療について

Health center (大学内施設として)の有無：☐有 ☒無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

大学に病院施設があるか、知らないです。天候が大変でした。まず、乾燥しているのでハンドクリームを毎日塗っていました。朝起きても暗くて、精神的にしんどくなりそうだったので、お昼に起きるようにしていました。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

開設しませんでした。日本のカードで決済または現地のお金を取得していました。しかし、カードが使えないことがあったので、銀行口座を開設すべきでした。開設する際は、バディがサポートしてくれます。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

留学生(特にフランス・ドイツ)と仲良くなるには一緒にお酒を飲みに行くことが重要でした。ドイツ人にドイツで友達を作るにはお酒を飲める必要があると言われたことがあります。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

大学のイベントで日本の文化を紹介する機会があり、日本食を提供した

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

街の治安はかなり良かったです。現地の学生からはスリに気をつけるように言われることが多かったのですが、貴重品はカバンに入れ、目から離さないようにしていました。

3. 後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報(HPや出版物等)を記入してください。

外務省たびレジ：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>
サンクトペテルブルク日本大使館：https://www.st-petersburg.ru.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html。困ったことがあれば、大使館に聞くのがいいと思います。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

はさみ。街のスーパーなどで見つけることができませんでした。なので、私はOZON(amazonに似たアプリケーション)で購入しました。また、現地で利用できない可能性があるのもので、クレジットカードを複数持って行くようにした方がいいと思います。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力：留学前－資格試験名称 TOEIC 655 点 (級)
 留学後－資格試験名称 _____ 点 (級)

自分から積極的に会話をする機会を作り、留学前に比べたら自信を持って会話できるようになりました。聞き取れなければ、聞き直せばいいと思えるようになりました。

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

宿泊していた部屋で、上から水漏れが起きたこと。
 部屋を変えるようにお願いしたら、問題なく、部屋を変えてくれました。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

クラスの人数は大体10-20人程度。成績評価は発表・課題・試験によって行われます。評価の付け方は不透明なことが多かったです。留学生は授業は必要最低限はやるという感じでした。遊び・観光を楽しんでいました。現地のロシア人学生は真面目でした。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

企業の面接・インターンシップにオンラインで参加していました。時差の影響もあって、朝3時に起きる必要があり、大変でしたが、海外からでも就職活動はできると感じました。

4. 費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

- (1) 留学時のレート： 1ルーブル、1.5円程度
 (2) 航空運賃： 大学
 (3) 住居費（月額）： 5万円 × 留学期間月数 4 カ月 = 20万
 (4) 食費（月額）： 4万円 × 留学期間月数 4 カ月 = 16万
 (5) 保険料： 数万円
 (6) その他： _____
 (7) 留学費用の合計： 約50万程度

5. その他 自由に記入してください。

・留学行く前はロシア語を流暢に話せないと生活が厳しいと思っていましたが、そんなことはありませんでした。英語または翻訳ツールを使うことで生活はできました。国籍によらず、若い世代は英語を話せる人が多かったです。しかし、ロシア語を話せた方がより留学生活を楽しめると感じました。

・コロナ禍での留学で大変なこともありましたが、国が違えば、方針・考えが大きく異なることを実感できて良かったです。そして、邦人の方は海外でコロナによって大変に感じるものがあっても前向きに考え、深く悩んでいなかったことが印象深かったです。

・英語圏ではない国で留学するメリットとして、どれぐらい現地語ができれば生活に問題ないかを学ぶことができる点だと思います。他の国で生活することのハードルが下がりました。

6. 留学先大学のキャンパス等、思い出に残る写真をぜひ添付して送信してください。





